

04

## 客が感動するプラスチック製品を提供する ベストパートナー

### 旭モールディング株式会社

TEL.03-5855-3560 FAX.03-5855-3630

URL <https://www.asahimolding.com/>

代表者：代表取締役 福田 晴通  
 所在地：〒116-0012 荒川区東尾久5-2-1  
 資本金：3,200万円  
 従業員：24人（パート・アルバイト含む）

創業年：大正10年  
 業種：プラスチック製品製造業  
 事業内容：プラスチック製品の設計・射出成型・加工・組立、  
 積層成形ブロックL-cube®の製造・販売



福田 晴通  
代表取締役

#### 一步先に行く「射出成形のパイオニア」

大正10年の創業時より、小間物（頭飾品）や婦人ボタンを製造販売してきたが、プラスチック産業が黎明期にあった昭和25年に米国製の射出成形機をいち早く導入して、プラスチック成形事業に進出。以来、今日まで70年余、射出成形専業に徹し、熱可塑性樹脂製品のパイオニアの道を歩む。

プラスチック産業が成長した昭和時代には、東京都足立区と茨城県猿島郡に生産拠点を設け、顧客の多様な仕様に応える独自の製品づくりの体制を整え、信頼を獲得し、業容を拡大した。現在までに、精密測定器、医療機器、自動車、アミューズメント関連分野で顧客層を広げてきた。

#### 状況に応じた生産効率を推進し顧客ニーズに対応

平成14年に現・代表取締役の福田晴通氏が3代目として経営を引き継ぎ、「開発・設計→試作品製作→金型製作→射出成形（量産）→印刷→組立→検査→出荷」という2次加工までの一貫生産体制の構築をはじめ、経営革新に取り組んできた。しかし、昨今の中小企業の製造業を取り巻く環境は非常に厳しく、市場の変化、人口減少による人手不足、加えて新型コロナウイルス感染症の感染拡大やロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナ問題等により海外からの材料・部品の調達遅延や価格高騰なども相まって、プラスチック業界も深刻な状況にある。

このような状況に対応するため、令和4年には本格的に「DXによる工場の改革」に着手した。また、事業承継も視野に入れ、令和6年からは後継者（現工場長の仲氏）を中心とする工場内の組織改革を図り、業務負担の軽減や働きやすい現場の推進などに少しずつ取り組んでいるところだ。

#### 射出成形のエキスパート集団として顧客の付加価値を創造する提案型ビジネスを展開

現代表取締役と工場長（後継者）の二人三脚で、グローバルな視点で常に技術革新にチャレンジし、品質にこだわり、受注生産と自社製品の2つの柱でビジネスを展開する。

更なる顧客ニーズに応えるため、新たな射出成形機の導入と生産管理システムの整備、製造現場の自動化、IoTやITを活用した現場の見える化、品質管理体制強化、生産ロスの削減等により生産効率の向上を推進し、全社一丸となって品質・納期・コスト面を強化し、顧客満足度向上を推進している。

#### 業界待望の「樹脂製肉厚板」に脚光

平成24年にM A C C プロジェクトに参画し、会員企業との産業連携や大学との産学連携を推進して、初の自社製品「積層成形ブロック L-cube®」を開発した。平成25年度「ものづくり補助金」の採択により開発を始め、平成27年には東京都に経営革新計画の承認を受けた。

本製品は、量産予定の樹脂材料で作る切削用ブロック。開発当時、プラスチック業界から、「業界の救世主、待ち望んでいた画期的製品」と注目を集めた。今では、本製品から切削することで金型製作前に正しいスペック評価ができるという利便性が浸透し、様々な分野から引き合いがあり、順調に売り上げを伸ばしている。また、本製品のバリエーション化も継続して推進し、順次自社HP等で発表している。

令和5年には、念願のPEEK（結晶性で難密着性のスーパーエンプラ）のブロック化に成功。その他、CFRTP、PA6T、PA9Tなどの新たに開発したブロックも順調に売上を伸ばしている。令和6年1月現在のブロック化実績は下記の通り。



#### ■ 主な保有設備

射出成形機（13台）、取出しロボット（13台）、3D-CAD、協働ロボット（1台）、画像寸法測定機、シルク印刷機、クリーンルーム、アニールボックス、各種検査設備

#### ■ 主な認証・実績等（積層成形ブロック L-cube®）

- ・第4回 荒川区新製品・新技術大賞 最優秀賞受賞
- ・特許：樹脂成形品の製造方法及び樹脂成形品の製造装置（特許第6259505号）
- ・商標：積層成形ブロック L-cube®（登録第6121722号）